



平成 17 年、3 月 1 日～11 日旧柳川市の最後の定例議会が開催されました。

そして、3 月 13 日に旧柳川市・大和町・三橋町の閉庁式が行われ、3 月 21 日には現柳川庁舎において開庁式が執り行われ「新柳川市」誕生したわけであります。皆さんも様々な思いをお持ちになったことと思います。私も、旧柳川市の 49 年間の歴史を振り返り、念願の合併が実現するにあたり、歴代の市長および執行部、先輩議員の皆さんが柳川市発展のため働いてきたことを振り返り、その最後の議会の一員であることに歴史の重みを感じると同時に誇りを感じ、そして、激動の時代に誕生した「柳川市」に議会の議席を持つ者の責任の重大さを痛感し、これからの柳川の姿を構築していくために働けることに身の引き締まる思いです。福岡県では 97 市町村が 69 に、全国で見ますと 3,000 超の自治体が約 2,000 へととなりました。いま市民参加による地域作りが盛んに叫ばれています。市民の参加と協力なくしては明日の故郷柳川は見えてこないと思います。皆さんとともに誇りを持てる故郷柳川を創るため働いてまいりたいと思いますので、更なるご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

柳川市議会議員
佐々木創主

佐々木創主議会報告

旧柳川市定例議会 会期：3 月 1 日～11 日

○平成 16 年度一般会計補正予算（第 6 号）が可決いたしました

これは、主に年度終了を迎えるにあたっての予算調整と次に述べます基金の統廃合によるもので歳入歳出とも 980,000 千円を加え予算総額 15,321,604 千円とするものです。

内容は、職員の退職金に関し福岡県退職手当組合に加入したことによる予算調整、道路や農業施設の災害復旧費が入札現によるものと、旧柳川市が持つ 11 の基金を新たに柳川市地域振興基金加えた 4 基金に統廃合するための予算措置です。

○さきに述べた旧柳川市の 11 基金のうち 8 基金を廃止し、新たに柳川市地域振興基金が創設されることになりました。

	名称	H16 現在高	廃止基金から繰入	新市への持出金額
新市の基金	財政調整基金	516,224,643	245,971,357	7,562,196,000
	減債基金	210,925,886		210,925,886
	土地開発基金	330,570,019		330,570,019
	柳川市地域振興基金		866,031,552	866,031,552
廃止される基金	あめんぼシティ基金	412,575,877		
	高齢者生きがいづくり基金	238,232,814		
	公共施設建設基金	257,178,762		
	青少年海外研修基金	5,604,411		
	佐賀線転換促進関連事業基金	12,872,068		
	退職手当積立基金	174,709,652		
	ふるさと・水と土保全基金	10,826,872		
	農漁村地域活性化対策基金	2,453		
	合計	2,169,723,457	1,112,002,909	2,169,723,457

○柳川市民会館条例が改正され使用料金が改正されました。

近隣市に比べ割高であった市民会館の使用料が合併を機に改正され、近隣の同様施設とほぼ同額になります。

これにより、昨年 12 月議会で決定した、減免規定（公立学校行事、市が共催・後援する行事、文化活動などの使用料を減額するもの）と、併せるとより使用しやすい料金となり、柳川の文化発展につながる事を期待する次第です。

使用料は、下記のように 3 段階に設定されています。

- A：営利目的ではなく使用料を徴収しないもの
- B：営利目的ではないが、使用料を徴収するもの
- C：営利目的

○柳川市・大和町・三橋町合併推進協議会が合併実現により廃止されることが全会一致で可決しました

○人権擁護委員の西田澄男さん（西浜武）が、再任されました。

＊ 人権擁護委員とは

日頃地域に根ざした活動を行っている民間のボランティアの人たちが、地域の中で人権思想を広め、人権侵害が起きないように見守り、人権を擁護していくことが望ましいという考えから設けられたもので、講演会や座談会を開催したり、住民の皆さんからの人権相談を受けるなどの活動を行います。

平成 17 年 3 月 11 日

柳川市議会議員

佐々木創主

TEL:0944-75-6057

FAX:0944-75-6058

MAIL:dauble.s@nifty.com